

2018年 新宿駅周辺防災対策協議会主催 講習会（トレーニング）

現地本部運営講習会

～ゲーム形式で学ぶ、実践的な現地本部の運営～

鈴木 光

新宿駅周辺防災対策協議会事務局
（一社）減災ラボ代表理事
減災アトリエ主宰
防災図上訓練指導員



本日の流れ



時間	(分)	内容
13:30	5	開会の挨拶・目的
13:35	10	新宿ルール実践のための行動指針について
14:45	15	ゲームの進め方の説明、前提条件の解説
15:00	80	ゲーム&ディスカッション（場面1～場面3）
16:20	10	休憩
16:30	50	ふりかえりと共有
16:20	10	まとめ

目的



- 西口現地本部をモデルとして「新宿ルール実践のための行動指針」に基づく現地本部の運営をゲーム形式で疑似体験する。
- 現地本部の役割、災害対応、各種情報の取扱方法の実際や課題を共有する。

現地本部の活動

(西口現地本部マニュアル 案・講習会用より)



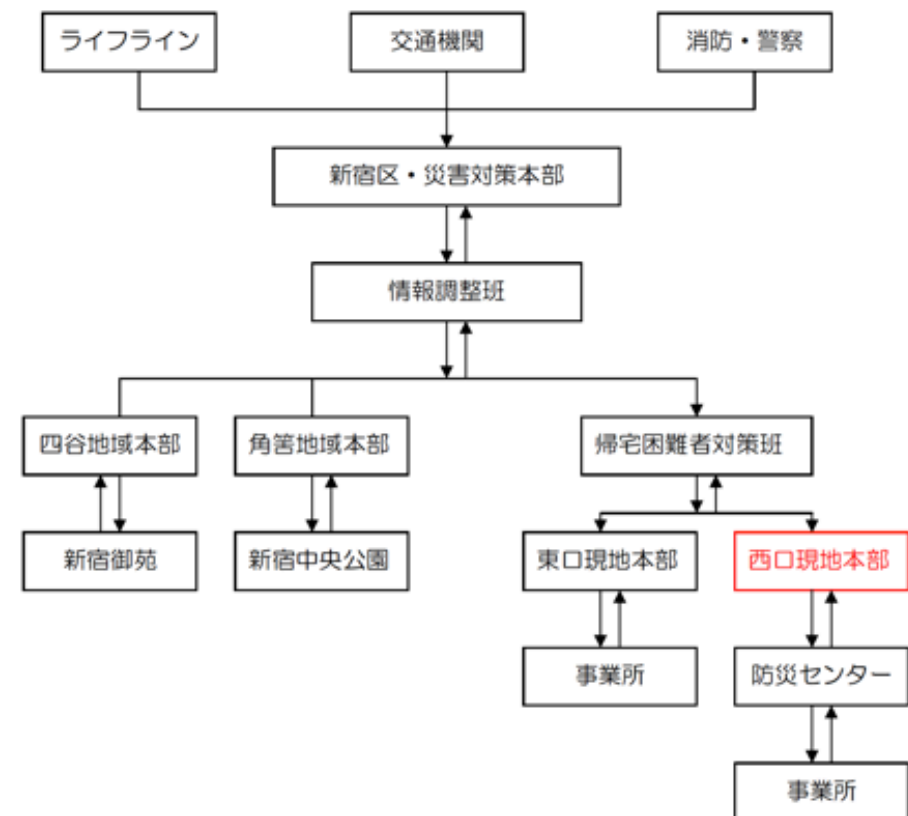
大規模災害時、公共交通機関の運行停止に伴い新宿駅周辺は多くの滞留者で混乱する恐れがあります。

新宿駅周辺の地域の事業者が、必要な情報を共有し、連携して効率的な災害対応活動を行うとともに、周辺滞留者へ情報を提供することで、新宿駅周辺の地域全体の災害対応力を向上させること。

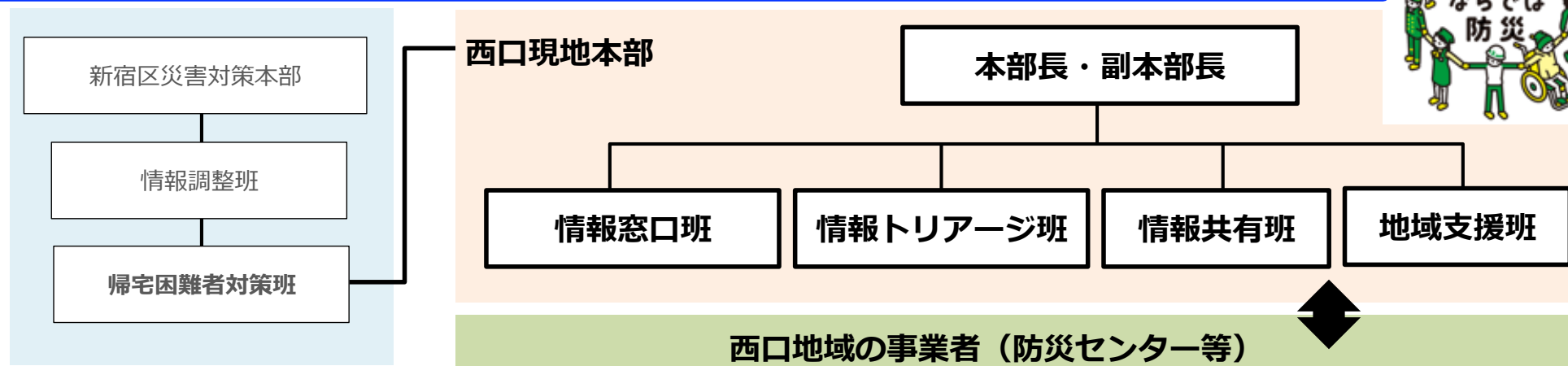
活動① 駅周辺**事業者の情報交換**の拠点

活動② 地域の**応急救護**の情報拠点

活動③ 地域の**災害対応の支援**拠点



役割分担 (西口現地本部マニュアル 案・講習会用より)



役割	活動内容
本部長・副本部長	西口現地本部の 運営指揮 (状況把握、意思決定、指示、外部との調整)
情報窓口班	各ビル、新宿区等から西口現地本部に寄せられる 各種情報の確認、交換 (緊急医療救護所、災対本部、一時滞在施設等)
情報トリアージ班	情報窓口班が受け付けた各種情報から、事業者や滞留者に 提供すべき情報の抽出
情報共有班	情報トリアージ班と連携し、各種情報を地図やホワイトボード等にとりまとめ、 情報の可視化 をする。
地域支援班	各種ボランティア、物資等に関する 提供・派遣依頼情報の入手とマッチング 専門家派遣先の決定

災害時の時系列イメージ（動画）



新宿駅周辺防災対策協議会

平成28年度新宿駅西口地域地震防災訓練

西口現地本部訓練

2016年11月10日（木）

東日本大震災時の新宿（動画）



前提条件



- 平日の午後 1 3 時に、2 3 区内で最大震度 6 弱の地震が発生
- 電車、バス等の公共交通機関は運行停止
- 都内の一部で停電・断水
- 固定電話、携帯電話は使えるが、輻輳状態で不安定
- 新宿駅周辺には数万人規模の滞留者が発生

被災イメージ（詳細 1）



【想定】 東京湾北部地震M7.3 震度 6 弱～震度 6 強

項目	内容
建物被害	- 高層建築物を中心に、構造部材の被覆等により直接は被害状況を確認できないため、応急的な被害状況が確認できない。 - 火災が発生した建築物では、全館退避を余儀なくされ、当該ビルでは事業所内での残留ができなくなる。 固定していない家具や什器等が移動・転倒し、室内が使用不可能となり災害対応や事業継続の妨げとなる。 - 高層ビル街では、多数のエレベータが同時に停止するとともに、商用電源が供給されないため、閉じ込め者が発生する。
人的被害	密集市街地や飲食店街では、発災時間により大規模火災が発生し、直接火傷を負うケースのほか、煙に巻かれる等により多数の死者が発生する。 - 市街地では、看板や壁面の化粧材等のビル等からの落下物に直撃し死者が発生する可能性がある。 - 市街地内では移動のボトルネックとなる場所に人々が集まり過密状態となり、負傷者が発生する。

出典：新宿駅周辺地域都市再生安全確保計画【第三次改定】平成29年3月（抜粋）

被災イメージ（詳細 2）



項目	内容
ライフライン	- 地震直後は、火力発電所の運転停止等により供給電力が5割程度に低下し、需給バランスが不安定となり、広域で停電が発生する。 - 管路や浄水場等の被災により、約5割の利用者で断水が発生する。 - 管路やポンプ場、処理場等の被災により、約1割の施設について被害が生じ、一部で水洗トイレの使用ができなくなる。 （携帯電話の）音声電話は利用の集中・輻輳に伴う通信規制等により、著しく使用が制限され、ほとんど接続できなくなる。 - 音声通話が集中するため、通信規制が行われ、ほとんどの一般電話は通話が困難となる。
交通	鉄道、バスは運行停止 道路は渋滞
滞留者	新宿駅をはじめ、都庁前、西新宿等の駅では、地震により運転を停止した鉄道の乗客や、鉄道の運行状況を確認するために集まった人々で混乱する。

出典：新宿駅周辺地域都市再生安全確保計画【第三次改定】平成29年3月（抜粋）

ゲームの3つの場面



場面1 23区内で震度6弱の地震がおきました。
あなたの職場から、現地本部に人を派遣しますか？

場面2 現地本部に参集しました。
数人が集まった現地本部で、訓練経験者は一人もいませんでした。役割分担をどう決めますか？

場面3 災害対策本部から情報が続々とはいってきます。
報告様式やとりまとめ様式を実際に活用してみま
しょう。

行動指針に基づく災害時の時系列イメージ



- 混乱を抑える
- 身の安全を確保する
- 行き場のある滞留者を待機させる
- 行き場のない滞留者を避難場所等（中央公園）に誘導し、待機させる
- 行き場のある滞留者を引き続き滞在させる
- 行き場のない滞留者を避難場所等（中央公園）から一時滞在施設に誘導し、滞在させる
- 滞留者を利用可能な交通機関で帰宅させる

ゲームの進め方



- 地震により滞留者が大量に発生した新宿駅界隈を想定し、3つの場面を設定しました。
- 3つの場面ごとに現地本部メンバーになったつもりで、どのような対応をするか、判断で悩ましいこと、解決策などについて災害対応カードゲーム教材「クロスロード（西口現地本部編試作版）」を用いてディスカッションします。

クロスロードとは



- 災害対応カードゲーム教材「クロスロード」は、大地震の被害軽減を目的に文部科学省が進める「大都市大震災軽減化特別プロジェクト」の一環として開発されたもので、2004年7月に、最初となる「神戸編・一般編」が完成しました。
- 災害対応カードゲーム教材「クロスロード」は、カードを用いたゲーム形式による防災教育教材です。
- ゲームの参加者は、カードに書かれた事例を自らの問題として考え、YESかNOかで自分の考えを示すとともに、参加者同士が意見交換を行いながら、ゲームを進めていきます。

【目的】

- ① 災害対応を自らの問題として考え、また、様々な意見や価値観を参加者同士共有すること
 - ② 災害が起こる前にできることを考えること
- 今回は西口現地本部編（試作版）を体験いただきます！



クロスロードのやりかた



- 問題を読み上げます
- 各自 **YES** か **NO** かを決めたら、答えがわからないよう、カードを裏返し、一斉に表に返してください。

自己紹介



- ①お名前
- ②ご所属
- ③日頃の業務内容
- ④地図に会社の位置をシールで貼る

場面 1 西口現地本部参集



あなたは・・・ビルAの防災担当管理者

地震から1時間が過ぎ、ようやく自社ビルの自衛消防活動が落ちついたところ。電車運転再開の見込みがないため、ビルのオープンスペースには、帰宅困難者が滞留し、これからも増えそうです。

情報を得ようと現地本部に「震災時連絡先名簿」を使い電話をしたところ、「本部の設置はしたがまだ工学院大学の職員2名だけで、区からの情報にも対応できていない。だれか職員を派遣してほしい」と言われました。

あなたのビルも、担当部署で防災訓練に参加していたのはあなただけで、あとは新人社員1名、中堅社員2名（防災訓練未経験）で帰宅困難者対応に必死です。現地本部にいけば、地域の被害情報、ライフライン情報、滞在施設情報などが得られるはずです。

なんとかして職員を現地本部に派遣しますか？

YES

職員を現地に派遣する

NO

他の手段を使って対応を試みる

ビルAの被害状況（位置：新宿第一生命）

構造

- 地上 20階 地下1階
- エレベーターは5基
- 地上1階から2階の一部は吹き抜けのオープンスペースになっており200人程度は収容可能。

テナント

- 5階から20階はオフィスビル
- 1階から5階は飲食店、クリニック、コンビニエンス等
- 地下1階は飲食店と防災センター

被災状況

- 電気、水道・トイレ・ガスは使える。
- 通信は、一般回線は輻輳状態でつながりにくいが、ビル内の内線電話、防災センターとの回線は使用可能。
- 特に上層階のオフィスでは揺れが激しく、固定していない棚や書類が散乱していたが、負傷者は軽傷であった。
- 一部のオフィスや会議室の吊り天井が落下、外壁の一部の化粧パネルが剥落。
- エレベーターは安全確認のため稼働停止、閉じ込めが3名発生したが1時間後に救出済み。
- 飲食店等での火災は確認されていない

場面 1 ディスカッション (20分)



以下について考えてみましょう。

- Q1-1 社員を派遣するとしたら、どの社員を派遣させますか？
- Q1-2 社員を派遣せず対応するとしたら、どのような対応を考えますか？
- Q1-3 事業者が現地本部に参集できなくても、現地本部の情報を取得したり、情報提供するにはどのような仕組みがあればいいと思いますか？

ディスカッションシート

Q1-1 社員を派遣するとしたら、どの社員を派遣させますか？

派遣する社員	訓練経験者	新人社員 (訓練未経験)	中堅社員 (訓練未経験)
考慮すること			

ディスカッションシート

Q1-2 社員を現地本部に派遣せず自社で対応するとしたら、どのような対応を考えますか？

種類	内容
対応案	
対応にあたって悩ましいこと	
(自社ビル等で) 備えておいたらいこと	

ディスカッションシート

**Q1-3 事業者が現地本部に参集できなくても、現地本部の情報を取得したり、
情報提供・共有するにはどのような仕組みがあればいいと思いますか？**

種類	内容
ハード要素 (通信機器)	
ソフト要素 (名簿、訓練など)	

場面２ 西口現地本部立ち上げ



あなたは・・・ビルAから現地本部に
派遣された職員

地震から2時間が過ぎました。あなたは上司から現地本部の情報を適宜、報告するように言われていますが、まだ現地本部に数名の事業者が集まっただけで、なにをどうしていいかわかりません。しかも、協議会の訓練は未経験者ばかりでした。なお、区からの帰宅困難者対策班はまだ到着していません。集まった事業者は、今、このテーブルを囲んでいるメンバーです。
アクションカードをよく読んで、役割分担を決めてください。

アクションカードとは



- 災害時に現地本部に誰がどれくらい参集できるかは、発生の時間帯、被災状況、事業者の勤務状況などによって未知数です。
- 参集した事業者が協議会の訓練を経験しているとは限りません。
- どのような状況であっても、集まった事業者で協力して最善の現地本部活動ができることを目的に、役割ごとに活動内容を示したカードが「アクションカード」です。
- 「アクションカード」は全7枚あります。まずは7枚のカードに全員で目を通し、役割を決めてみましょう。兼任もOKです。

アクションカード



①本部長/副本部長

(1)現地本部の活動状況把握

②情報窓口班

1-1) 分担 (1)各事業者及びレポーターから報告を受ける。

1-2) 地域内
の
ポーター
頼事
TOD

1-3) 次回
の
活動
する。

(2)新宿
の
活動
・傷
・地
・滞
・現

③情報トリアージ班

(2)入手し
【情報が少ない場合や、信憑性の高い情報が入った場合には、情報窓口班が兼任する。

(1)情報の入手

1-1)情報窓口班が現地本部内の報告様式に
様式に沿って評価する。

(2)情報の発信

2-1)情報の優先順位を評価する。
2-2)情報源の信頼性及び情報の信ぴょう性
2-3)評価結果を踏まえて取捨選択・整理し
共有班に伝達する。

報告様式

報告様式	
報告者	
報告日時	
報告内容	
評価結果	

ココを
用いて
評価

③情報共有班

④情報共有班

[GIS担当、地図担当、無線LAN担当、ネット担

1-
や
動

⑤地域支援班

(2)
列
2-
を

(3)
3-
や

(1)GIS情報
1-1)現地
ホワイトボー

(2)白地図

2-1)情報
集約を行

(3)無線LAN

3-1)本部
携して、共
検討・共

(1)提供可能なボランティア・資機材の情報入

1-1)情報トリアージ班から、周辺の事業者等「
情報」を入手する。

1-2)入手した情報を、ボランティア(応急救護
材(応急救護関係、その他)別に整理する。

(2)提供/派遣依頼情報の入手

2-1)情報トリアージ班から、周辺の事業者等「
希望情報」を入手する。

2-2)入手した情報を、ボランティア(応急救護
材(応急救護関係、その他)別に整理する。

(3)専門家の派遣

3-1)現地本部に参集した専門家と、必要に応
現地本部が把握した情報をもとに、専門家の
る。(派遣先は区に報告する。)

(4)運営支援[マッチング]

4-1)(1)及び(2)の情報をもとに、ボランティ
の提供/貸与に関するマッチングを行う。

4-2)マッチング結果について当該事業者に通

場面2 ディスカッション (10分)



Q2 アクションカードで役割を理解できましたか？

アクションカードの良い点・改善点を教えてください。

ディスカッションシート

**Q2 アクションカードで役割を理解できましたか？
アクションカードの良い点・改善点を教えてください。**

	意見
理解度	理解できた____人、だいたい理解できた____人、あまり理解できなかった____人
よかった点	
改善点	

場面3 西口現地本部運営体験



これからいくつかの災害時の情報を付与します。
先ほどの場面2で決めた役割に基づき、対応をお願いいたします。
また、途中で地域事業者からの「問い合わせカード」をお渡しします。
いま、わかっている情報をもとに対応を検討してください。

【付与の内容】

- ・ 鉄道の運行情報
- ・ 地域の被害情報
- ・ 地域事業者の被災情報
- ・ 一時滞在施設情報
- ・ 応急救護所、災害拠点病院情報 など

問い合わせカード 1

ビルB（位置：新宿NSビル）の山本ですが、帰宅困難者を受入れられないので、最寄りの受入れ場所を知りたいのですが、どこがあいっていますか？

問い合わせカード 2

ビルZ（位置：東口アルタ側）の笠井ですが、ビルにけが人（自力で歩けるが、揺れで落下した看板で腕から流血している）が運びこまれました。ビルには医療施設がないので、どこにいったら手当ができるでしょうか？

場面3 ディスカッション (10分)



Q3 マニュアルや様式の使い方、記入方法はわかりやすかったですか？改善点があれば教えてください。

ディスカッションシート

Q3 マニュアルや様式の使い方、記入方法はわかりやすかったですか？
良い点・改善点を教えてください。

	マニュアル	様式
よかった点		
改善点		

ふりかえり（共有）



●ふりかえり（15分）

**災害時に自社や自商店街等の滞留者対応に関して
現地本部に求めるもの
（体制、情報、連絡手段、訓練内容など）**

●まとめ（5分）

●発表（15分）

1 班 **3** 分 * 4 班

ディスカッションシート

災害時に自社や自商店街等の滞留者対応に関して現地本部に求めるもの (体制、情報・連絡手段、訓練内容など)

種類	内容
体制	例) 参集に関する協定の必要や実効性、役割分担など
情報 連絡手段	例) 無線の整備、メーリングリスト、SNSの活用など
訓練	例) 訓練の頻度、テーマ、手法など
その他	

お疲れさまでした



新宿防災WEEK2018 2018.11.13~11.21